

芸術

教 科	科 目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
芸術	美術Ⅲ	2	3年次・J1群	自由選択
使用教科書（出版社）		副教材（準備するもの）		履修の条件・連絡
美術3（光村図書）		（アクリル絵具、石粉粘土、色鉛筆セット、ペン）		美術Ⅰ、美術Ⅱを履修していること。

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
(1) 造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を追求し、創造的に表す力を育成する。 (2) 主題を生成し個性を生かして発想し構想を練り、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める。 (3) 主体的に創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育む。		
評価の観点及びその主旨		
1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
対象や事象を捉える造形的な視点について理解し、意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表現する技能を身に付けている。	造形的なよさや美しさ、創造的な工夫などについて考え、主題を生成し個性を生かして発想し構想を練ったり、自己の価値観を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を身に付けている。

2 学習計画と観点別評価項目

学 習 の 年 間 計 画	学期	学習内容（単元・項目）		月	学習のねらい	評価の観点
	1 学 期	彫刻	1 オリエンテーション	4	・美術Ⅲの授業内容を説明し、美術Ⅲで学ぶ目的意識を明確にする。	1 3
			2 精密な立体造形（動物のフィギュア） （1）鑑賞 （2）制作技法の体験 （3）構想 （4）制作	5 6 7	・人気の高いフィギュアなどの彫刻作品を鑑賞し、精密さや躍動感が感じられる要素について理解する。 ・芯材の作り方や、石粉粘土の肉付け方について、体験しながら学習する。 ・モチーフとする動物を決め、ポーズや土台の有無などの構想を練る。 ・芯材を丈夫に制作し、ひび割れや欠けを防ぐよう工夫する。 ・表面の丁寧な仕上げで、精密な造形を追求する。	2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3
学 習 の 年 間 計 画	2 学 期	絵画	3 多様な描画技法1 （色鉛筆による精密画） （1）制作技法の体験 （2）構想 （3）制作	9 10 11 12	・光源を意識し、明暗を捉えやすい構図を考える ・視点や構図に注意しながら画面に取り入れる工夫をする。 ・色鉛筆だけでリアルな精密描写ができることを学ぶ。 ・技法を体験し習得する。	1 2 3 1 2 3 1 2 3
学 習 の 年 間 計 画	3 学 期	絵画	4 多様な描画技法2 （点描によるペン画） （1）制作技法の体験 （2）構想 （3）制作	12 1	・ペーン一本を使用して豊かな表現ができることを、体験しながら学ぶ。 ・モチーフを選定し、明暗・濃淡に注意してデッサンを行う。 ・ペンによる点描の密度で濃淡を表現する。 ・全体のバランスを見ながら丁寧に仕上げる。	1 2 3 1 2 3 1 2 3

令和6年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

学 習 評 価	観点	1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
	規 準	○対象や事象を捉える造形的な視点について理解し、意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表現する技能を身に付けているか。	○造形的なよさや美しさ、創造的な工夫などについて考え、主題を生成し個性を生かして発想し構想を練ったり、自己の価値観を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができているか。	○主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を身に付けているか。
	手 段	・制作の様子 ・ワークシート ・作品	・制作の様子 ・ワークシート ・作品	・制作の様子 ・ワークシート ・作品
	単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法		・作品や授業態度などと総合的に判断して評価する。 ・定期考査は行わない。	
	学習上の留意点	・様々な画材や材料を使用するため、教材費として3000円程度を徴収する。 ・定期考査は実施しないため、積極的な態度で授業に参加し、作品を必ず完成させること。		